

# 関係者評価の結果について

令和3年4月作成  
学校法人北邦学園  
菊水いちい認定こども園

## 1 本園の教育目標

教育目標
◎ 思いやりのある子 ◎ 考え工夫する子 ◎ 明るくたくましい子

『評価』の区分
A：成果を上げている。
B：ある程度成果を上げている。
C：もう少し努力が必要である。
D：改善が必要である。

## 2 令和2年度に重点的に取り組む目標・計画

取り組む目標、計画
①環境（ゾーン）工夫 ②乳児クラス的环境を工夫する ③新型コロナウイルス感染症対策を講じながらも、充実した園生活を送れるよう活動や環境を工夫する

### 3 評価項目の達成及び取組み状況

A: 成果を上げている B: ある程度成果を上げている C: もう少し努力が必要である D: 改善が必要である

評価項目	取組み状況	関係者評価	
		評価	意見等 ○良い △意見 ●課題 ☆要望
「教育保育の計画性」について  自己評価：B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約2か月の休園があったため、残りの10か月で教育保育課程を修めることとなったが、焦ったり急いだりして子どもたちに負担をかけるようなことはしない、ということを通理解しながら各学年、各クラスを運営したのは評価できる。</li> <li>・通常保育再開後も感染対策を講じながらの日常保育・行事の立案が必要になったりと、これまでにない経験が続いた。しかし、前年度までの保育を踏襲できないことが様々な視点から保育を考えるきっかけとなり、特に行事に関しては『分散での実施』が今後も効果的なのではないか、と思われるものがあったので、コロナ終息後にも生かしていこうと考えている。</li> <li>・身近な素材（廃材など）を生かした玩具を手作りし、環境を工夫したことは良かった。また、保育教諭の作品を真似たりヒントにししながら子どもたちが製作を楽しんだり、遊びを工夫する姿につながったのも良かった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今年はコロナの影響で様々な行事が中止になるだろうと思っていた中、先生達に色々考えて頂き、分散ではあったものの子どもの成長が見れたことはとても良かった。</li> <li>○前例のない、長期にわたる休園で、園は大変だったと思います。その中、途中でこのぼりや母の日製作キットを配布していただけて、子どもが家で楽しめるのもうれしかった。また、短時間ではあったけど、いつも乗ってるバス、運転手さん、先生に会えたのは子どもも喜んでいて、私も嬉しかったです。</li> <li>○オンラインお楽しみ会も喜んでいて、1人1人出席をとるのも良かった。</li> <li>○運動会も競技を絞ったものではあったけれど、生活発表会の時も、子どもから急いで覚えさせられている感は感じなかった。</li> <li>○色々な製作、毎年のイベントでもいつも同じ物を作るのではなく、お面だったり、帽子だったり飽きさせない工夫がとても良かった。</li> <li>○コロナが流行って、園も休みになったり、子どもたちも少なからず不安になったりしている中、休みが明けて登園するとテーブルに置くビニールシートや感染対策をしながらの保育や昼食、すぐ考えて頂いているなど思いました。今では子ども達もごく自然にビニールシートをテーブルに置いたり、マスクをして気を付けたり、不安な気持ちも先生方の配慮のお陰でずいぶん少なくなったように思います。</li> <li>○私は外部からの事しかわからないのですが、頑張っていると思います。</li> <li>○コロナ禍のもとでの教育課程の見直し等、大変苦労されたことと思います。その中で、効果的な取り組みをコロナ禍後にも生かしていく事はとても良いと思います。</li> </ul>
「教育保育の在り方、幼児の対応」について  自己評価：C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが安全に楽しく遊べるよう、自由遊び時には園庭や遊戯室に職員を配置しているが、担当者の安全と安心の確保に対する意識が不十分と感じることがあった。危ないからと何でも制限したり禁止するのではなく、子どもと一緒に安全について考えることを改めて徹</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○その時々で状況が変わるため、適宜に対応して頂いていると思っています。</li> <li>○時々、自由遊びの様子を見る機会がありますが、保育室、遊戯室、廊下、色々な所に先生がいて、子ども達に声をかけ、一緒に一生懸命遊んでくれて、1人の子どもと話しをしていると思ったら、横目で見えた子どもに「危ないからダメだよ～」と言って、たくさん気にしてくれながら遊んでくれてるなと思ってました。</li> </ul>

	<p>底していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども一人ひとりに寄り添おうとする一方で、全体への目配りや気配りがおろそかになる場面があった。経験豊富な保育教諭の助言や管理職による指導を継続していく。</li> <li>個人あるいは集団の成長を理解し、見通しをもって保育をするよう努めているが、その場その場で突発的な援助をしている姿がある。 経験が浅い保育教諭に限らず見られた姿なので、学園の教育保育課程/指導計画をもとに見通しをもって保育をする。</li> <li>クラス担任、担当にこだわらず、他クラスの子どもの姿にも目を向け、情報を共有することが当たり前になってきた。また、互いの気づきを伝える（指導する）姿も増えており、評価できる点である。</li> </ul>	
<p>「保育者としての資質と能力」について</p> <p>自己評価：B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務時間外でも新型コロナウイルスに気を付けて生活しようとする意識は評価できる。</li> <li>保護者に子どもの姿を伝える際にエピソードを話すだけで、その姿からうかがえる成長や課題が伝わらないことがある。専門職としてふさわしい伝え方を身に付けていく。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○感染者も出さなかったので、園が閉鎖される事が無かったのは素晴らしい。</li> <li>○これだけコロナが流行している中、園でコロナが発生しないのは、意識と自覚を持った先生方の行動があるからだと思う。 そして、とても気さくな先生ばかりで、いつも親にまで優しく話しかけてくれる。</li> <li>○お迎えに行くと、今日一日の様子だったり1人1人の保護者に伝えて、更に複数の先生から伝えてもらう時もある、何人も子どもを見ているのに、親としてはすごく嬉しいです。</li> <li>●確かに稀に何が言いたいかわからない事もあった。</li> <li>・どの組織でも、一番の課題は人材育成だと思っています。</li> </ul>
<p>「保護者への対応」について</p> <p>自己評価：B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の方々と直接話せる機会がとても少なく、園便りやクラス便りなどの発行物で園の考えや思いを伝えたり、担任からの電話でお子さんの様子を伝えたりするといった関わりがほとんどだった。 いつもならば、顔を合わせながら話したり、ざっくばらんに語らったりすることで信頼関係が構築されていくのだが、今年はそうしたことが大変難しかった。オンラインを利用しての交流も効果的とは思いますが、やはり会って話すことが大切だと改めて感じた。</li> <li>保護者の心配事や不安に感じていること、あるいは不満</li> </ul>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○帰宅した子どもが楽しかったと話す姿を見れば問題ない。</li> <li>・今までバス停や園へ行った時に、当たり前先生方と話せていたのがどれだけ幸せなことか安心につながっていたかを痛感した。でも、「いちいの子」で園長先生の書くお話しは全て事後報告ではなく、今迷っている事、悩んでいる事など、心の内を話してくれているので、とても共感できるし、親近感が湧きます。ただ、今の状況だと、ちょっとした事や思った事をポロッと話したりできないので淋しいと思います。</li> <li>●保育園児なので基本的には直接話して頂くことが多く、身振り手振りでも子どもの様子を伝えて頂きました。1つ気になるのが、インターホンを押して名前を言った時、ちょっと機嫌が悪いのかな、と思う時があって、インターホンを押した後「はい」「〇〇組の〇〇です」「・・・」「ガチャン」みたいに少し怖いなぁと感じることがありますが、カギを開けてもらうだけなので全然いいのですが。</li> </ul>

	に思ったことについて、真摯に受け止めて対応してきたつもりだが、保護者の来園を制限する期間も多く、園の対応に安心していただけたのかはいささか不安が残る。		○コロナ禍のもとで、できることを出来る限り行っていらっしやりました。
「地域の自然や社会との関わり」 について 自己評価：B	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の小学校や保育施設との行き来が全くできず、職員同士の勉強会も園児と児童の交流も学校見学もできなかった。次年度もこうした状況が続く場合、小学校の先生と相談をし、取り組める活動を工夫したい。</li> <li>地域の方々と挨拶は交わすものの、立ち話をするのも気が引ける一年だった。それでも一言二言でも言葉を交わし、これまで同様に良好な関係を継続できていることは評価できる。</li> </ul>	B	<p>○そのおかげで、行事の時など車で行くことが出来たり、冬の雪道も園の前は除雪されていて良かった。</p> <p>☆いちいのうりである“いちいの村”に一時全く行けなかったのが一番残念だった。夏は特にいちいの村に行くことが多かったのも、それが突然なしになってしまった時はとてもイベントが無しになってしまった感じがした。</p> <p>社会見学や学校見学も相手の準備が必要になってしまうけど、子どもたちの成長のため、何とか再実現して欲しいです。</p> <p>○今年度は色々制限もあり、先生方もなかなか思うようにできなかったと思いますが、できる中では沢山していただきました。</p> <p>○今年度は致し方ないと思います。</p>
「研修と研究」について 自己評価：B	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は園庭の環境構成と0～2歳児保育室の環境構成について考えることを主題に掲げて園内研究を進めた。ポストイットを利用して全職員でアイデアを出し合いながら環境を整えたことは大変良かった。</li> <li>0～2歳児保育室の環境については学びもあったが課題も多く、引き続き課題の改善に向けて取り組んでいく。</li> </ul>	A	<p>○先生方みんなで考え、アイデアを出すというのは素晴らしいと思う。</p> <p>△ただ、0～2歳児という低年齢の子どもたちは反応を見ながらじゃないとわからない事もあると思う。こうしよう！と初めに決めるのではなく、複数案を出して試してみて、好反応だったものを環境に繰り返し広げたり、というの也不错かなと思いました。</p> <p>○園庭や0～2歳児の保育室など、色々変わったりして子ども達もその度に目をキラキラさせて遊んでいて先生達のたくさんアイデアがすごいなあと思います。</p> <p>○全職員で課題を共有し、改善へ向かっている姿が伺われます。</p>

#### 4 評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自 己 評 価	関 係 者 評 価	
	評 価	意 見 等
<p><b>◎環境（ゾーン）の工夫</b>            子どもたちの心を遊びへ駆り立てるには不十分だった園庭が、“ホッピーやぐら”や“おひさまキッチン”の設置で大変魅力的になった。おひさまキッチンでは家庭の台所やレストランの厨房など、普段の生活で見たり触れたりした経験を存分に活かしたり、砂場と連動させたりしながら遊びを展開している姿が多くみられ良かった。</p> <p>現在の園庭には遊びに取り入れることができる草花がほとんどない。今年度は工事の関係等で花壇の設置を見送ったが、次年度は子どもたちが自由に採取できる花壇を設置しようと考えている。その際は、見たり飾ったりすることはもちろん、すりおろして色水にした時に美しい花などを調べて植えていく。</p> <p>ホッピーやぐらにある小屋は、凶鑑を設置するなど、落ち着いた雰囲気でごせるよう環境を整えたのだが、子どもの遊びの盛り上がりはいまひとつだった。やぐらならではの高さを生かした環境を整え、空や景色に目を向け、心地よさなどを感じられるようにしていく。</p> <p><b>◎乳児クラスの環境を工夫する</b>            昨年度の研究保育の結果を生かし、保育室内にゾーン（2～3か所）を設置した。0歳児クラスは押す、引く、回すなどの手先を使って遊べる玩具を手作りしたり、登る、降りる、滑り降りるなど全身を使って遊べる環境を整えた。子どもたちが様々な“試し”ができる環境は0歳児の主体性を育むには効果的だったと評価している。</p> <p>1，2歳児クラスは生活体験が遊びのアイデアとなるよう環境を整えた。いずれのクラスも台所を設置したり、車を走らせる道路（シート）を敷いたりした。1歳児クラスでは、空間を区切ったものの、1つ1つの場所（ゾーン）の特色が伝わりにくく、子どもの遊びへの意欲を引き出すには課題が残っている。</p> <p>2歳児クラスは設けた3つのゾーンで子どもたちがいきいきと遊びを繰り広げており、次年度以降の基本的な環境構成としていけるのではと考えている。</p> <p><b>◎新型コロナウイルス感染症対策を講じながらも充実した園生活を送れるよう活動や環境を工夫する</b>            園生活の全ての場面においてコロナ対策が必要となり、特に行事については一から考えることばかりだった。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年で卒園してしまうけれど、遊びながら学ぶ事は今までもこれからもとても素晴らしい。</li> <li>・おままごと遊びが大好きな子どもたちに“おひさまキッチン”の設置はとても良いと思う。              また、公園でもそうだが、お花を摘んできてトッピングしたり、花びらをちぎって混ぜたりして、自分好みのイメージにしたりするのをよく見るので、自由に採取できる花壇の設置は大賛成です。              様々な色の花を植えるのも良いアイデアだと思います。</li> <li>・今年度は園庭がとてもステキになり、外に行く子ども達もきっと増えたと思います。              また来年度以降の花壇なども設置されれば、もっともっと興味が出て楽しさも増し増しです。              赤ちゃんクラスでは時々玩具が変わってたり、増えてたり、子どものできることに合わせて、その都度考えていただいている、保育室に入るなり新しいものを見つけると喜んで走って行って遊んでいます。              夜、お迎えに行くと、先生が部屋で一生懸命作ってくれてる姿を見て、本当に有難く思ってます。              行事も出来るだけやってもらえて、すごく嬉しかったです。個人的には発表会は他のクラスも見れるのはいいのですが、長時間自分のクラスが始まるまで立ち続けた昨年度より今年度のようにクラスごとにしてもらった方が広々として時間もかからず良かったです。</li> <li>・乳児クラスは自分で考えて行動というよりは、先生や他の子のしている事を真似する、という行動が多いのかなと思った。でも、低年齢の子どもたちに台所を設置したのは良いと思う。実際、家で触ってみたくても触らせてもらえない場所だと思うので、興味や関心があると思う。</li> <li>・“行事＝人が集まる”というのが当たり前だったので、それを一から考えて対策するというのは大変難しいものだったと思う。でも、お泊り会もスペシャルホッピーデーに変わり、泊まれないけどいつもより長く、暗くなるまでお友達と過ごせたというのは特別な一日になったと思う。</li> </ul>

<p>しかし、これまでの保育の在り方を振り返る良い機会ともなり、コロナ対策としてだけでなく、保育として効果的だったと評価できるものは継続していこうと考えている。</p> <p>また、日々の活動や行事について、できるだけ中止にはせず、実施方法や内容、環境を工夫して行ったことは評価している。次年度もこうした対応は必要と思われるので、今年度の評価や反省をいかしていく。</p>		<p>そして、なんとか一位の村への行き来や自由の森、今までの行事を出来たらと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の天候や気温が少し異常な時もあるので、予定を組むのは大変だと思うが、予備日を増やしてもらえたらと思います。</li> <li>・園の駐車場を今一度考えてはどうでしょうか。</li> <li>・外での活動が少し少なかったように見えました。</li> </ul> <p>旭川での事故を踏まえ、安全な園活動を頑張ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今の状況に甘んじるのではなく、常に改善に向けて工夫を重ねられているのが素晴らしいと思いました。</li> </ul>
--	--	---

## 5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法	関係者評価	
		評価	意見等
<p>乳児の発達について学びを深める</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に参加したり、専門書を読んだりして乳児がどのように成長するのか学ぶ。</li> <li>・各自が学び得たことを伝え合い、学びの確かめをしたり、学びを共有したりしながら保育に生かしていく。</li> <li>・個々の姿や集団の様子について保育教諭間で話し合い、気づきなどを共有する。</li> </ul>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方は常にプロ意識をもち、子どもたちに接していると感じる。そして、更により良い接し方へ向けての向上心を感じます。</li> <li>・先生同士、情報共有しているな、と子どもの園でのエピソードからも伺えます。とても安心につながります。</li> <li>・預けている側からすると、「さすが先生だな～」と思うことが本当にたくさんあります。参考資料を見させてもらって、毎日たくさん先生同士で話してより良い保育ができるように考えてくださってるんだと改めて思いました。</li> <li>・見とり、関わり、情報共有を大切にしている事がわかりました。</li> </ul>
<p>0～2歳児クラスの環境の工夫(ゾーン)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2歳児クラスは生活体験を遊びのアイデアとして生かせる環境を整え、遊びへの意欲を引き出ししていく。</li> <li>・引き続き1、2歳児クラスのゾーンについて考え、遊びの場を整えていく。</li> <li>・0歳児クラスは手先を動かして遊ぶ、全身を使って遊ぶ、空間を楽しむことができるよう環境を整え、様々なものごとに興味をもって関わろうとする気持ちを育んでいく。</li> </ul>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても良いと思います。</li> <li>・どんどん遊びたいくなるような環境づくりは良いと思います。手先を使った遊びも成長にはもとてもいいし、刺激になるし、遊びながら成長も伴うというのは理想の保育の姿だと思っています。</li> <li>・いつもいるりんご組では最近滑り台が導入され、部屋に入</li> </ul>

			<p>るなりすごく楽しんでいます。時々行くどんぐり組やくすみ組のおもちゃにも本当に楽しそうに興味をもって遊んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象を絞っての取り組み、育ちが楽しみです。</li> </ul>
玩具について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで使用してきた玩具の中には学園で策定した玩具の基準にそぐわないものがあるので見直しをおこなう。</li> <li>それぞれの玩具が子どもたちにどのような刺激を与え、どのような成長につながるのか学びを深める。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由時間の製作は、子どもの想像をふくらますのにとっても良い。</li> <li>玩具については子どもたちは日々同じ物でも使い方を工夫したり、変えたりして楽しんでいると思う。タングラムを導入した時の子どもたちの楽しそうな反応にはビックリした。そして、完成したらスタンプを押してもらって嬉しそうだった。</li> <li>今あるおもちゃで、お姉ちゃんが1歳児（約6年前）からあった物も見ました。何年経っても子どもが子どもが喜びそうなものは大切に、その中で新しいものも取り入れていただいとおもちゃ1つにしても成長につなげるために考えてもらえて逆に親の私が勉強になります・・・。</li> <li>玩具の特性を吟味し選定していくのは大変かと思いますが、子どもたちがどの様に変容していくか見てみたいです。</li> </ul>

以上